

第十七節 昭和十四年

① 職員その他（「任免関係原議綴」その他による。） 昭和十四年

一月四日 講師比田井天来死去。

同月二十四日 渡辺清重郎は中華民国視察旅行の序を以て本校教授上参考資料となるべき美術工芸に関する調査を嘱託される。

同月三十一日 長沢子朗に代わって陸軍歩兵大佐野中宇八が本校服務を命ぜられる。

三月二日 教授兼生徒主事田辺孝次は石川県立工業学校長に任命される。

同月三十一日 石橋啓十郎（犀水）は図画師範科習字授業担任講師を嘱託される。

四月四日 学術研究のため山崎寛太郎は同日より往復とも二週間、朝鮮京城へ出張（旅費は支給せず）を命ぜられる。

四月六日 生徒修学旅行のため、前年同様岸熊吉、新納忠之介、富田一昭、安間立雄、入江幾治郎は臨時実地指導を嘱託され、

石沢正男、森田亀之助、関野聖雲、松田義之、丸山不忘、北浦大介、佐藤重吉、鈴川信一、新規矩男、武田寿、佐々木卓は三

重県、奈良県、京都府へ出張を命ぜられる。校長芝田徹心は本校生徒古美術見学状況視察のため四月十二日から十日間の出張を申請し許可される。

同月十日 川崎小虎は図画師範科兼勤を免ぜられる。矢沢弦月は

工芸科兼勤を免ぜられ図画師範科兼勤を命ぜられる。

同月二十日 講師鎌倉芳太郎は東洋彫刻史授業を、同新規矩男は西洋工芸史授業を増嘱される。

同月二十二日 竹内英雄（昭和九年油画科卒）と中西次郎（同十一年同科卒）は海洋画に関する資料調査を臨時嘱託される。

同月二十四日 片岡照三郎は漆工部の彫鏤実習を一学期間臨時嘱託される。

同月十五日 原田謹次郎（尾山）は東洋文学授業担任講師を嘱託される。

五月四日 生徒野営演習に関し、野中宇八（地形偵察。五月五日より往復とも二日間）、豊田朝一郎（事務打合わせ。同期間）

は習志野出張を命ぜられる。

五月五日 竹内英雄、中西次郎の練習船日本丸便乗許可される。

同月十日 山脇洋二は本校教務（彫金部勤務）を嘱託される。

同月十五日 生徒野営演習につき野中宇八、豊田朝一郎（ともに五月十六日より往復とも四日間）、筒崎謙斎（五月十六日）は習志野出張を命ぜられる。

同月十八日 同じく筒崎謙斎は五月十八日より往復とも二日間同地出張を命ぜられる。

同日 高村豊周、伊原宇三郎、矢沢弦月は学術研究（主目的は第十八回朝鮮展審査）のため五月二十五日より往復とも三週間朝鮮京城へ出張を命ぜられる。

同月二十日 田辺孝次は本校講師を嘱託され、西洋工芸史に関する特別講義担任（無報酬）を命ぜられる。

六月一日 学校長芝田徹心は日本諸学振興委員会昭和十四年度芸術学部臨時委員を嘱託される。

同月二日 佐々木卓、佐々木一郎は生徒野営演習につき同日習志野へ出張を命ぜられる。

同月二十六日 集団勤労作業実地調査のため、佐々木卓、高橋吉雄、北浦大介、宮本純一は府下三鷹村へ出張。

同月二十八日 同じく佐々木卓、北浦大介、宮本純一、佐藤重吉、高橋吉雄は府下調布町上石原へ出張。

七月三日 集団勤労作業実施に関する事務打合わせのため佐々木卓、北浦大介、佐藤重吉は三鷹村へ出張。

同月十八日 内藤春治は興亜青年勤労報国隊満州派遣学生指導教官として出発。

八月十九日 講師石橋犀水の中国旅行（私費）願い許可される。

九月十三日 職員中より常岡文亀、南薫造、田辺至、小林万吾、朝倉文夫、北村西望、羽下修三、香取秀真、山崎覚太郎、松田権六は第三回文部省美術展覧会審査員に任命される。

同月二十三日 教授岡田三郎助（油画科主任）死去する。

十月五日 龍居松之助は建築科の日本庭園に関する講義（毎週二時間、十回）を臨時嘱託される。

同月十日 本校生徒海事訓練講習会参加のため、高橋吉雄は静岡県県および神奈川県へ十月十二日より二日間出張を命ぜられる。

同月十二日 教授藤島武二は油画科主任を命ぜられる。

同月二十五日 矢崎好幸は臨時セメント美術教室設備に関する事務を嘱託される。

同月 生徒野営演習のため野中宇八（十月二十四日より二日間）、豊田朝一郎（同）、瀬谷義広（十月二十四日、同月二十六日から二日間）は習志野へ出張を命ぜられる。

同月 北浦大介は学事視察のため朝鮮へ出張を命ぜられる（李家美術館長葛末治の依頼による）。

十一月六日 助教授野口六三は教授に任命される（翌七日依願免本官）。

同月 講師小場恒吉は朝鮮総督府宝物古蹟名勝天然記念物保存会第五回総会に出席。

十二月 本校生徒が海事訓練講習会に参加して十月十二日潜行艇母艦迅鯨に乗り込んだ際、同艦長に講演を依頼。その記念として興相武筆油画ほか一点を同艦に贈呈したため、興相に謝儀として本校より四十円を贈与。

昭和十四年三月二十四日、第四十八回卒業証書授与式が行われ、同日より三日間、校内で卒業制作品陳列会が開かれた。左記はその記録文書の抜粋である。

② 卒業式

第四十八回卒業証書授与式次第（三月二十四日 午前十四時）

一、新卒業生入場著席（第一講堂北口ヨリ出入）

二、職員、参列舊卒業生著席（第二講堂東口ヨリ出入）

三、來賓著席（第三講堂東口ヨリ出入）

四、宮城遙拜、靖國神社遙拜、出征將士ノ武運長久ヲ禱ル